

令和8年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（応用理工系学科 応用マテリアル工学コース）

試験時間 9:00～11:00

- ・ 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、黒の鉛筆、黒のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、時計（計時機能のみ有するもの）のみです。これ以外のものを試験時間中、机の上に置いてはいけません。
- ・ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類、及び時計のアラームは、試験時間中、使用してはいけません。これらの電子機器類は、あらかじめアラームの設定を解除して電源を切り、かばん等に入れなさい。

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は、このページを含めて3ページあります。
3. 解答用紙は「小論文1/2」から「小論文2/2」までの2枚、草案用紙は2枚あります。
4. 受験番号は、監督員の指示に従って、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。なお、裏面を使用してはいけません。
6. 必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
7. 解答用紙は2枚とも全部必ず提出しなさい。
8. 問題紙の余白は下書きに使用しても差し支えありません。
9. この問題紙と草案用紙は回収しません。

令和8年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（応用理工系学科 応用マテリアル工学コース）

令和8年度北海道大学工学部編入学試験（特別選抜）問題【小論文】
（応用理工系学科 応用マテリアル工学コース）

以下の各問に対し、それぞれ解答用紙1枚以内で解答しなさい。なお、図や表を用いて解答してもよい。

問1 近年、温室効果ガスの排出による地球温暖化が世界的に大きな問題となっている。この問題を解決するために、材料科学者としてどのような取り組みが有効か、あなたの考えを述べなさい。

問2 以下の(A)～(B)の中から1問を選択して答えなさい。

(A) 金属材料の腐食は、重大な事故の発生や経済的損失につながるため、重要な研究対象となっている。金属材料の腐食について知るところを化学的な観点から説明しなさい。また、腐食を抑制するためにどのようなアプローチが可能か、あなたの考えを述べなさい。

(B) 材料の微視的構造を調べる機器分析法について、あなたが知っていることを答えなさい。